



1号認定の子どもたちは長い夏休みが終わり、3日(月)から2学期が始まりました。年長組の子どもたちにとっては、幼稚園最後の夏休みでした。

夏休み中、皆さんはいかが過ごされたでしょうか。今年の夏は猛暑や台風の接近など、これまでの夏とはひと味違った夏だったように感じます。体調を崩されることはなかったですか。2学期は運動会や発表会など大きな行事が予定されています。子どもたちが毎日元気で楽しく過ごすことができるよう、私たちも努力していきますので、保護者の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

○ 幼稚園部に登降園システム「れんらくアプリ」を導入します。

本紙No.16で簡単にお知らせしましたが、これまでは登降園時の時刻を所定の用紙に書いていただいていたものを、2学期からは保育園部が使用しているのと同じようにタブレットに触れていただくだけで、登降園時の時刻を記録できるシステムを導入しました。すでに、2号認定の子どもについては、8月20日(月)から実際に運用しており、1号認定の子どもも昨日から運用を開始しました。

すでに、お手持ちのスマホに必要なアプリをダウンロードしていただいていると思いますが、このアプリは登降園時の時刻管理だけでなく、バスの運行状況や各種連絡を行うことができる便利なアプリです。

園としても、活用の幅を広げていきますので、保護者の皆さんも使い方について慣れていただければと思います。よろしくお願いします。

なお、幼稚園部のシステムは、保育園部のシステムとは別のものですので、お手数をおかけしますが、保育園部と幼稚園部にお子さんのいらっしゃる保護者の方は、両方のタブレットでの操作をお願いします。将来的には、統一する予定です。

○ 教育実習生が来ています。

夏休み中から、教育実習生が来ていますので、お知らせします。

8月22日(水)から本日まで、平成音楽大学3年生の高橋史歩さんが、昨日から14日(金)まで、九州女子大学3年生の鶴田真衣さんが観察実習で来ています。また、宮崎学園短期大学1年生4名が、二人ずつ8月28日(火)～29日(水)、8月30日(木)と今月3日(月)の2日間観察実習を行いました。

それぞれ、来年度に実際に保育を行う本実習を行う予定です。鶴田さんは年少のもも組で実習を行います。子どもたちと触れ合いながら、保育教諭の仕事について学んでほしいと思います。



○ 小川美由紀先生が女兒を出産されました。

7月から産前休暇に入っておられた保育園部の小川美由紀先生が8月27日(月)の朝、女兒を出産されましたので、お知らせします。母子ともに元気だということです。先生は年末までお休みの予定ですが、子育てに専念していただきたいと思います。

小川先生、おめでとうございます。

○ 足の健康（足育）

7月15日付けの内容は「遊び方の工夫」で、公園の遊具を使って、楽しみながら運動能力を高めるというものでした。

- ・滑り台……座った姿勢で上半身が倒れないようにしながら滑るので、姿勢を保つ筋力やバランス感覚が育つ。滑るために何度も階段を上るので、足腰の筋力も鍛えられる。
- ・ブランコ…腕・足・腰が連動して初めてうまくこげるので、バランス感覚と道具の操作力が育つ。座っているだけでも姿勢を保つ力やバランス感覚が発達する。
- ・鉄棒……2歳頃から遊べる。ぶら下がる遊びは、腕で体を支える筋力や握力が高まる。転んだ時に自分の体を手と腕で支える力も付き、けがをしない体づくりにつながる。

公園で運動能力を高めるために心がけたいことは、「声かけを最低限に絞る」こと。子どもが全神経をフルに使って遊んでいる時に声をかけると、集中力が途切れて「抱っこ」と甘えが出たり、落ちてけがをすることもある。親が「危険な時意外は手出し口出しをせず、目は離さない」と決めて関わると、子どもは安心して難しいことにも挑戦でき、伸び伸びと体を動かすことができる。

7月22日付けの内容は「はだし」のことでした。

足の裏は、体を物理的に支えるとともに、重要な感覚器官です。小学校を卒業する頃までに足の裏でたくさん刺激を経験し、感覚器としての力を高めることがよいそうです。そのためには「はだしで過ごすこと」が有効です。家の中だけでなく、砂地や土、芝生など安全な場所ではだしで遊ばせてはいかがですか。また、お風呂でよく足を洗うことも有効だそうです。石けんをしっかりと泡立てて、足の甲、裏、足の指の1本ずつを丁寧に洗います。足の裏は体温を調節する働きもあり、よく汗をかき、雑菌が繁殖しやすいところです。丁寧に洗うことで足への刺激になり、清潔を保って足の病気を防ぐことができ、感覚器としての足の健康も守れるそうです。

7月29日付けの内容は「保護伸展反応」についてでした。

転んだ時とっさに手をつくことができず、顔にけがをする子がいます。転んだ時に手をつくことができないのは、体のバランスが崩れた時に「反射的に身を守るために姿勢を変える力」が弱いからかもしれません。転んだ時に手をついて身を守る力を「保護伸展反応」といい、通常は1歳前後までに、はいはいや体を揺らす遊びを通して身に付くものだそうです。「はいはい」で手で体を支える力と、首に力を入れて顔を上げる力が育ちます。体を揺らす遊びは「高い高い」とゆっくり体を抱き上げたり、横抱きで優しく揺らしたりする遊びで、平衡感覚が養われます。立って歩く前に、保護伸展反応を身に付けていると、体のバランスを崩して転びそうになっても、立ち直ることができます。転んでも手をついて体を支えるので、大けがをすることが少なくなります。一方、赤ちゃんの時に、はいはいや体を揺らす遊びが少ないと、保護伸展反応の力が弱いまま立って歩いてしまうので、転びやすく、しかもその時に手をつかないので、転び方がひどくなってしまうそうです。転んだ時に、手をついて顔をぶつけないように頭を起こし、大けがを予防するための方法として「雑巾がけ」が有効だそうです。雑巾がけは、手とひざでからあを支える「はいはい」の姿勢をします。また、おしりを高く上げた姿勢で足指で床を蹴って前に進むので、手で体を支える力、首で頭を支える力、体の平衡感覚が育ちます。転んでも大けがをしない「雑巾がけ」を親子で一緒にしてみてもいいかなと思います。

※ 9月の行事予定

| | | | | | |
|--------|-----------|--------|----------|--------|------|
| 3日(月) | 2学期始業式 | 12日(水) | チャイルドルーム | | |
| 5日(水) | 9月生まれの誕生会 | 17日(月) | 敬老に日 | | |
| 10日(月) | 楽しいコンサート | 23日(日) | 秋分の日 | 24日(月) | 振替休日 |